



令和7年5月23日

担当課	道路建設課
担当者	近藤・上山
電話	073-435-1087
内線	5466

『市道市駅湊線河西橋』

架け替え完成に先立ちお絵描きイベントを開催します

河西橋は、一級河川である紀の川に架かる橋で、通勤・通学等に利用され紀の川北部と中心市街地を結ぶ重要な役割を担っています。現在は幅員が狭隘で、老朽化が進んでいるため、新橋を架け替えることにより幅員6mとした歩行者と自転車・自動二輪車を横断防止柵で分離し、安心、安全な通行を確保します。

今回、河西橋架け替え（延長473m）の完成に先立ち、地元小学生を対象に橋面に絵を描くイベントを下記のとおり開催します。描いた絵は、アスファルト舗装をすると見えなくなりますが、子どもたちの楽しい思い出として残ります。

1. 日時：令和7年6月3日（火） 9：00～12：00

野崎小学校 4年生、5年生及び6年生（引率教諭含め） 92名

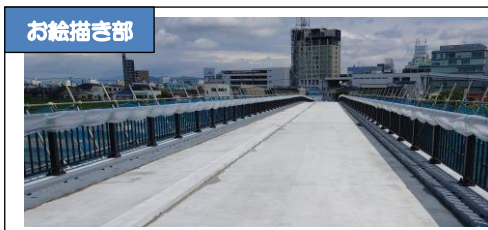
令和7年6月9日（月）13：00～14：30

伏虎義務教育学校 4年生及び6年生（引率教諭含め） 211名

※荒天時は延期

2. 場所：河西橋橋上（和歌山市西藏前丁地内～北島地内）

【位置図】



3. 主催：和歌山市、株式会社豊工業所

4. 内容：橋面への描画、ドローンによる記念撮影

河西橋の歴史



河西橋の沿革

年代		出来事
1914年（大正3年）	9月	かたけいべんでつどう なんかいでんでつ きのかわきょうりゅうてつどうきょう 加太軽便鉄道（現南海電鉄）紀ノ川橋梁の鉄道橋として工事が完成し、機関車が運行
1950年（昭和25年）	9月	きょうきやく そんしょう ジェーン台風により橋脚が損傷
1953年（昭和28年）	7月	きょうきやく かたむ 水害により一部の橋脚が傾き、運休
1955年（昭和30年） ～1956年（昭和31年）		てつどうきょう はいし じょうと 鉄道橋として廃止され、和歌山市に譲渡
1957年（昭和32年）	9月	きょうきやく しゅうり ぽきょう ほうそう 橋脚の修理、補強、舗装などを行い工事完成
1957年（昭和32年）	10月	きょうりゅうめい かせいばし わた ぞ 橋梁名を『河西橋』として渡り初め式
1965年（昭和40年）	9月	しゅうらい きょうりゅう りゅうしつ 台風24号の襲来により橋梁2か所が流失
1966年（昭和41年）	4月 ～2月	復旧工事を開始し、完成
2010年（平成22年）		ろうきゅうか か か 老朽化に伴い架け替えの設計を開始
2014年（平成26年）		工事を開始
2025年（令和7年）	夏	かせいばし 新しい河西橋が完成



河西橋の概要

きょうりゅうちよう
橋 梁 長：473m
ゆうこうふくいん
有効幅員：6m（歩道2m、自転車・バイク4m）
じ ぎょう ひ
事業費：約75億円

かせいばし てつどうきょう
河西橋は、1914年（大正3年）に完成し、当時は機関車が走る鉄道橋でしたが、台風や水害により橋が損傷し、列車が走れなくなりました。
その後、和歌山市が歩行者や自動二輪車が通行できるように、橋を修理しました。
しかし、橋も古く架け替えが必要となりました。2010年（平成22年）から新しい河西橋の設計や工事を行ってきました。
この度、令和7年に新しい河西橋が誕生します。